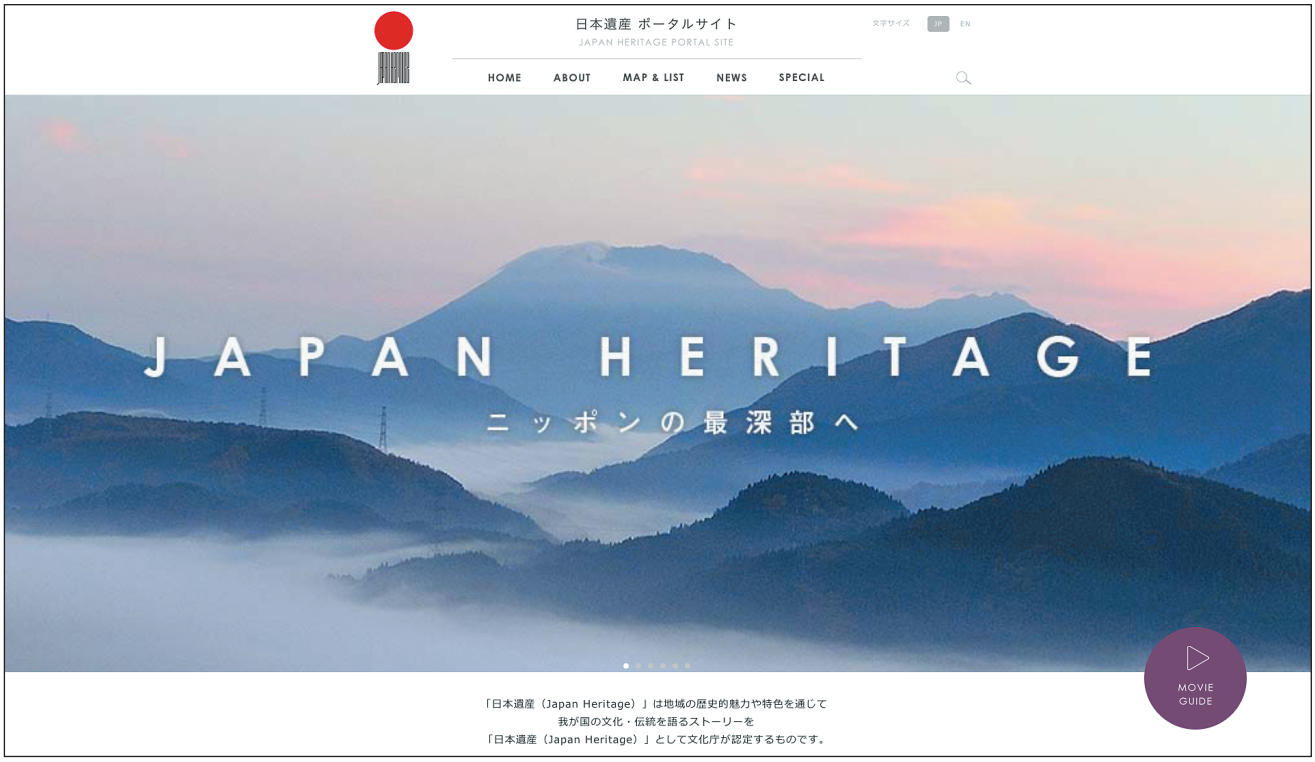
日本遺産・川口

を、めざして



出典：日本遺産ポータルサイト（https://japan-heritage.bunka.go.jp）

日本遺産とは？

文化庁が平成27年から始めた、我が国の文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図るための取り組みです。
年に1回「日本遺産審査委員会」の審査結果を踏まえて、文化庁が決定しています。
世界遺産登録や文化財指定は、個々を指定し、その価値を《保存》することが重視されてきましたが、日本遺産は地域に点在する文化財を地域全体のストーリーによりパッケージ化し、《活用》していくことを重視しています。**認定されても、世界遺産のような保存のための規制はありません。**

※2020年までに100件程度認定予定。平成29年度までに認定されたのは54件（埼玉県からは行田市のみ）。

認定されるには？

日本遺産に認定されるには、地域全体をパッケージ化できるストーリーが必要です。
ストーリーの審査基準には、次の3つがあります。

1. **ストーリーの内容が、当該地域の際立った歴史的特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅力を十分に伝えるものとなっていること。**
2. **日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、実現に向けた具体的な方策が適切に示されていること。**
3. **ストーリーの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること。**

※この他に「申請の要件」を満たす必要があります。　日本遺産ポータルサイト「ABOUT- 申請にあたって」からの引用

認定されたら？

日本遺産として認定されたストーリーの魅力発信や、日本遺産を通じた地域活性化事業については、「日本遺産魅力発信事業」として文化庁が積極的に支援します。
以下の４つの事業を推進することにより、確実に地域が自律的に活性化に取り組んでいける仕組みを構築していきます。
①情報発信･人材育成 ／ ②普及啓発事業 ／ ③調査研究事業 ／ ④公開活用のための整備に係る事業

鳩ヶ谷地区・神根地区・安行地区の、2020年 日本遺産認定を目指しています。

認定されるための審査基準 1

ストーリーの内容が、当該地域の際立った歴史的特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅力を十分に伝えるものとなっていること。

さらに

認定するストーリーは次の３点を踏まえた内容とする。

1、歴史的経緯や地域の風習に根ざし、世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたものであること。

2、ストーリーの中核には、地域の魅力として発信する明確なテーマを設定の上、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものを据えること。

3、単に地域の歴史や文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。

日本遺産ポータルサイト「ABOUT-申請にあたって」からの引用

ストーリーづくりのキーワード

大宮台地

縄文時代からの台地。
鳩ヶ谷・神根・安行エリアは最南部の鳩ヶ谷支台（安行台地）。
安行の猿貝貝塚で出土した土器は「安行式土器」の標式となっている他、古墳時代初期のものとされる三ツ和古墳や、赤山陣屋跡西側では縄文時代のトチの実の加工場跡が発見されている。

文化財 猿貝貝塚、赤山縄文遺跡出土遺物付トチの実、戸塚精進場遺跡出土品、新郷貝塚、前野宿貝塚、宮合貝塚、叺原遺跡出土蔵骨器、浦寺遺跡出土石器

台地の最も江戸に近い地域に陣屋を構える

関東郡代 伊奈氏

家康に仕えていた伊奈忠次は、足立郡小室（現・伊奈町）に陣屋を構えた。その後、忠治の代に赤芝山（現・赤山）へ陣屋を移す。江戸幕府最大の土木工事「利根川東遷事業」を三世代に渡って総括した。

文化財 赤山城跡、赤山山王権現社本殿付覆屋一棟・狛犬一対、伊奈家頌徳碑、源長寺の阿弥陀如来坐像、八幡宮石祠

推奨

安行植木

伊奈氏が植木や花の栽培を推奨したと伝えられている。
大宮台地の縁に当たる地域のため、起伏に富んだ地形で多種多様な植物を育てることに向いている。
日本有数の植木産地。

文化財 吉田権之丞の墓、安行藤八の獅子舞、安行イチリンソウ自生地

整備等に関わる

日光御成街道

江戸時代に徳川将軍が日光東照宮に参拝する日光街道の脇道として整備された。鳩ヶ谷宿、川口宿が形成される。
2012年より４年に一度「日光御成道まつり」が開催される。

文化財 日光東照宮参拝図絵馬、日光社参御小休所図絵馬、道標（庚申塔）、道標（地蔵菩薩）

大宮道

赤山街道

伊奈氏が幕府の命で土木工事を推進する中、赤山から現地との連絡や物資輸送のため設けた道。大宮道、越谷道、千住道がある。八丁堤は大宮道の一部である。

八丁堤

伊奈忠治によって、大宮台地の支台同士が最も接する浦和市大間木の附島と川口市木曽呂の間に堤を築き見沼溜井がつくられた。その堤が8町（約900m）あったことから八丁堤と称される。見沼溜井から引いた見沼用水によって周辺の新田開発が進む。

地元に伝わる行事

安行原の蛇づくり

川口市指定無形民族文化財

江戸時代から続いているといわれる民族行事。毎年５月24日に五穀豊穣・天下太平・無病息災なども祈願するため、植木職人の技で長さ10メートルの藁の大蛇をつくり欅の大木に祀る。最後に百万遍という行事を行う。

さらなる用水整備・新田開発

鳩ヶ谷宿

日光街道千住宿・草加宿・越ヶ谷宿を結ぶ「千住道」「草加道」「越ヶ谷道」、中山道戸田の渡し・蕨宿を結ぶ「戸田道」「蕨道」と見沼通船堀もつくられ、陸路や舟運から人と物資が集まるジャンクションが鳩ヶ谷宿である。
八代将軍・吉宗の時代に毎月３日と８日に開かれる「三八市」が始まり大変賑わった。現在も東北自動車道、関越・常磐自動車道を結ぶ東京外環自動車道、首都高速道路が交差する川口ジャンクションを有する交通の要である。

文化財 十一屋北西商店、市神社、日光御成道絵図、須賀神社神輿、とんぼ橋の橋石、地蔵院 木造不動明王立像

井沢弥惣兵衛

江戸時代中期の治水家。新田開発が進むと、見沼溜井だけでは水が足りなくなり、新たに利根川から用水を引く河川事業によって「見沼代用水」をつくる。見沼溜井は八丁堤を切り開き、干拓され、見沼田圃となる。
見沼代用水と芝川とを結ぶ閘門（こうもんしき）式運河「見沼通船堀」をつくり、見沼代用水周辺の村々と江戸との舟運を可能にした。

文化財 見沼通船堀、川口神社の神鏡、蔵前橋の橋石、享和四年銘算額

西福寺の三重塔

埼玉県指有形文化財

西福寺は西立野にある真言宗豊山派の寺院。元禄６年(1693)に三代将軍・家光の長女千代姫によって建立され、三重塔には釈迦三尊と千代姫の位牌が安置されている。三重塔の総高は22.96m、県内に現存する最も高い木造建築である。

※文化財＝関連文化財

ストーリーの骨子

徳川幕府を支えた関東郡代 伊奈氏の拠点。

縄文から続く関東の（大宮）台地の最南部。地形にいかされた自然・歴史・ものづくり。

認定されるための審査基準 2

日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、実現に向けた具体的な方策が適切に示されていること。

このエリアのビジョン

緑 ···· 安行植木、赤山花卉（かき）、川口市立グリーンセンター、川口緑化センター、イイナパーク川口

歴史 ····· 赤山城趾、鳩ヶ谷宿、猿貝貝塚、寺社・文化財多数

健康 ····· 神根の農業体験、桜・紅葉ウォーク、見沼代用水サイクリングロード

アクセス ····· SR埼玉高速鉄道（南北線直通）、車なら都心から約1時間

これらの利点をいかした

東京の隣にある《歴史と癒やし》の観光地へ

これから

●「イイナパーク川口」の完成

平成30年4月に開業予定の火葬施設「川口市めぐりの森」を含む8.9ヘクタールの公園。
歴史自然資料館、地域物産館、遊具などが併設される。
32年度には首都高川口パーキングエリアに直結し、一般道からも利用できる首都高初のハイウェイオアシスを整備、34年全面開園予定。

● 都市農業の可能性をさぐり、地元の魅力発信へつなげていく

都市の中の農業体験、レンタル畑、地元野菜づくりや直販、加工商品の開発や販売などのモデル事例を進める。

● エリア内の飲食店の充実

地元の食材を生かしたレシピ開発、農家レストラン、農家Cafeなど。

● 鳩ヶ谷・神根・安行エリア内の百景選出

自薦、他薦問わず、景色・景観・文化財などを募集。

● 都心からのアクセスの良さをいかした観光プログラム作り

SR埼玉高速鉄道の鳩ヶ谷駅、新井宿駅、戸塚安行駅の有効活用など。

認定されるための審査基準 3

ストーリーの国内外への戦略的・効果的な発信など、
日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること。

まず地域のみなさまのご理解を頂き、地元から盛り上げていきたいと考えています。
同時に川口市へも積極的に働きかけを行い、日本遺産の認定はもろんのこと、
その先にある地域の活性化推進へ向けての体制を整えていく予定です。

支援者募集！

ストーリーの効果的な発信のため

東京から見た、鳩ヶ谷・神根・安行エリアの鳥瞰図（イラストマップ）の制作をしたいと考えています。

主な目的

- 地元の魅力を再確認・再認識する。
- 日本遺産認定に向けた活動のPRアクションの1つとして。
- 川口以外の人に川口に興味をもってもらい、来てもらうキッカケとして。
- メディア（ウェブサイトや雑誌など）に、条件付き無料貸し出しを行い、川口の魅力発信に役立てる。

川口の緑・歴史・文化といった、このエリアの魅力を存分に詰め込み、さらに都心から近い立地であることをイラストで直感的に伝えるツールを制作したいと考えています。
言葉の説明がなくても、初めて川口を知る人の入口になるものとして、幅広い世代から好感を持ってもらえるような、「本当に使える」質の高いイラストマップを目指します。

・日本遺産の「申請の要件」には、ストーリー構成の中に国指定または国選定の文化財が必ず一つは含まれることが条件となっており、川口市は現在、〈安行植木〉の国の重要文化的景観の選定を目指し調査事業を進めています。
・さいたま市、伊奈町との連携の可能性も視野に入れ、内容をさらに検討していきたいと考えています。

川口の緑・歴史・文化を次の世代へいかすため、
日本遺産認定へ向けての活動に、ご賛同ご協力をお願い致します！

お問い合わせ　メール info@araijuku2011.jp　FAX 048-281-9939

発行元：新井宿駅と地域まちづくり協議会（AGC）
発行責任者：鈴木常久　発行日：2018年3月4日

Araijyuku Green Community